



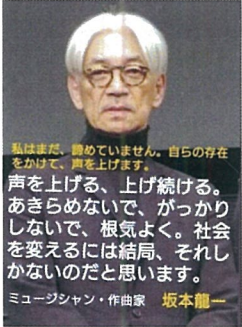
## 来年七月の参議選 勝利に向けて！

第四九回衆議院選挙は十月三十一日投票された。投票率は五五・九三％で、前回より二ポイント余り上回ったものの、戦後三番目に低い投票率となった。

結果は全国紙ほぼ共通して「自民単独過半数・立民惨敗・議席減・維新躍進 第三党」であった。

自民党は、獲得議席は二六一で、絶対安定多数に達した。維新は四一議席で大躍進した。言うまでもなく維新の会は改憲政党である。自民・維新で三〇一議席。公明・無所属を含め三分の二議席を大きく超えた。これが今次総選挙の示した冷厳な事実である。

立憲民主党の獲得議席は九六で公示前一〇議席を下回った。選挙期間中テレビ番組で、市民連合世話人の山口二郎法政大学教授は、立民に「一四〇議席から一五〇議席、獲得の期待」と予想を述べていたが、遠く及ばなかった。



私はまだ、諦めていません。自らの存在を上げて、声を上げます。声を上げる、上げ続ける。あきらめないで、がっかりしないで、根気よく。社会を変えるには結局、それしかないのだと思います。  
 ミュージシャン・作曲家 坂本龍一

写真はFBより

✓ 共産党は一〇議席・国民民主党は一議席・れいわ新選組は三議席・社民党は現状維持となった。立民の枝野幸男代表は、総選挙敗北の責任を取って辞任した。社民党大分県連合は、今回の結果を受けて、

①立憲との合流による党員の減少と混乱の中での総選挙、厳しい環境を党員の皆さんが十分に認識し頑張りが見える闘いであつた。

②立憲との合流、議員の党席替えを不快に思っている県民が多く存在していた。

③少選挙区制が導入された一九九六年以来、県内では必ず候補者を立て、選挙区が比例復活で当選させてきたが、大分にはまだまだ根強い社民党支持者が存在していた。との総括を出した。

総選挙後、維新の吉村副代表は「自民党が本気で改憲するのなら、我々も本気で付き合う」と発言し、松井代表も来年の参議選の投票と同日で国民投票を実施すべきだと主張。改憲の急先、



✓ 鋒に立ち、自民党を支援している。

この維新の会と、国民民主党との間で、憲法改定の具体化の推進で合意した。これら改選勢力で三四五議席＋立憲民主党の中で五割前後は改憲に賛成の議員がいる。そうすると、護憲勢力は立憲の一部と・共産党・れいわ新選組・社民党だけとなる。まさに危機的状況と言える。

社民党は、来年七月の参議院選挙まで政党要件があり、二〇二五年まで政党助成金がある。来年度の参議選で二％確保が絶対条件となる。

これから他の政党の動きを注視しながら、参議選勝利に向けて全勢力を投入していかねばならない。

(文責 副代表 二村誠一)

## 再稼働は十二月？

四国電力・伊方原子力発電所一・二号機の廃炉はすでに決まっています。三号機



は、二〇二〇年一月一七日に広島高裁の運転差し止め仮処分が即時抗告審で運転を認めない決、

✓ 定がされました。四電は二月に意義申し立てを行い、二〇二一年三月一八日、広島高裁は四電の主張を認め、運転差し止めを取り消す不当な決定をしました。

これにより、再稼働は可能になりましたが国の新規制基準で設置が義務付けられたテロ対策施設の完成が間に合わず、一〇月二日に再稼働をすると発表しました。

## お粗末な職員！

テロ対策施設が完成するも再稼働は延期となりました。七月に伊方原発の男性職員が、宿直勤務中に無断外出を五回も繰り返して、違反について審議する県原子力専門部会が開かれました。四電は、県と伊方町の理解を得て進めるとし、県伊方原発環境安全管理委員会は、四電の再発防止策を妥当と判断し、伊方町・高門町長も理解を示しました。あとは県議会の最終判断となり、議会で認めれば一二月に再稼働へ進むことになりました。

大分から最短四五キロ先にある「対岸の原発」再稼働されれば不安が増します。(文責 幹事長 馬場徳明)



伊方原発再稼働・上関原発計画許さない！



## 県連合学習会開催

第一回県連合学習会を十一月二五日、ふれあい会館にて開催しました。

一昨年上映された「新聞記者」についての意見交換でしたが、この映画は官邸とメディアの深い闇に敢然と立ち向かう東京新聞の望月衣塑子記者の勇氣に改めて勇氣をもらいました。



## 衆議選を闘い終えて

宗方支部は十一月十四日午前十一時から定例の支部集會を開催しました。

衆議院選挙の総括を済ませて、高野市議と党友二人を招き、コロナ対策をして焼肉会を開催しました。

この春から他支部の二人の党員が宗方支部へ編入され、歓迎も含めての支部集會なので、由布市在住の佐藤正人氏（宗方支部所属）も駆けつけ、懐かしい社会党時代の話、参加された党友の自治会活動の体験等々、



お酒を酌み交わしながらではありますが貴重な話に花が咲き、三時間余の懇親会となりました。

興行収入四億円を突破し

大ヒットとなった藤井道人監督の「新聞記者」が、今

度はネットフリックスで、オリジナルドラマとして来年一月十三日に世界同時配信されると発表がありました。是非ご覧下さい。

出演者

米倉涼子 綾野剛 吉岡秀隆  
寺島しのぶ 横浜流星 萩原聖人 柄本時生 他



# 来夏 参議院選挙 勝利へGO！

## 党員・党友の登場です！

1969年からの国鉄が推し進めてきた生産性向上政策に対して、当時の国労で先頭に立って闘ってきた後藤さんですが、国鉄からJRそして交運共済で働いてきました。

近年の高齢化社会とともに山林の荒廃が進み、このままでは大変な状況になると思い、この仕事を仲間と始めたそうです。

会社の名前の由来も山林を守りたいとの思いで

「お山の子守屋」にしたそうです。



社会党時代からの党員  
後藤昭憲氏

## ♪ヨシミが吠える～！

今回、学習会「新聞記者」で取り上げた内閣情報調査室の問題は、いま現に自民党政治が行っている問題で、ほぼ事実に近いと言われています。私たちは、日常的にテレビや新聞・週刊誌等で情報を得ていますが、果たしてそれが真実であるのか？操作された情報ではないのか？としっかりした目を養っていく必要があります。

Twitterの問題も大きい。dappiというサイトが個人のアカウントではなく、自民党から多額のお金をもらっている会社であったことが発覚しています。そして、反自民の姿勢を示した投稿者にはウソも含めて激しく攻撃をし、多くの人がそれを鵜呑みにしているのです。そうやって世論操作が日常的に行われています。

多くのマスコミに必要なのは「権力を監視する」という機能を取り戻すことです。社民党もこんな時代に負けない情報の発信を頑張っていきます。



## 庭木のお手入れお済みでしょうか！

屋敷回りの不要樹木の伐採片付け・休耕田畑の

除草作業等！ お電話にてお気軽に

ご相談下さい

(恐れ入りますが大部分県内に限ります)



☎097-569-2778  
携帯 090-4475-0202

代表 後藤 昭憲

(株) お山の子守屋

